

登戸学寮ニュース

公益社団法人 登戸学寮
〒214-0032
神奈川県川崎市
多摩区枡形 6-6-1
発行人 小島 拓人

理事長就任のご挨拶

理事長 小島 拓人
こじま たくひと



登戸学寮では、二〇一九年六月の役員改選に当たり、福島穆氏が一身上の都合で理事及び理事長を退任され、図らずも私（一九六二年入寮のOB）が

後任の理事長を拜命致すこととなりました。福島穆前理事長の任期中の二〇一七年四月にスタートしました、創立六〇周年記念事業につきましては、最後の第三年目に入りましたが、今回の役員改選では、執行部を中心に殆どの中核となる理事が再任し皆様からの浄財を責任を以て活用すべく六〇周年記念事業の推進に当たっておりまして、先ずはご安心頂きたくお願い申し上げます。

尚、今回の役員改選に当たりましては、評議員、理事、監事の全員が六月の定時評議員会の終結と同時に任期満了退任することとなり、これに合わせて評議員会、理事会の安定的な運営体制を確保するために、評議員、理事の定数を大幅に増加する定款の変更も行いました。これに伴い、別記載のとおり、評議員に關しましては若手卒寮生（OB、OG）を中心に世代交代を促進し、理事の人材の増強も行い、以てこの変化の激しい時代に即した学寮の事業運営の体制の確立を目指しております。

近年減少傾向にある寮生数に対して、寮事業の将来への懸念を懐かれる方が多いはお

※ 目 次 ※

- 理事長就任のご挨拶…………… 1
- 理事長退任のご挨拶…………… 2
- 寮の行事紹介…………… 2
- 聖書のことば（『サムエル記上』二八章15節）…………… 5
- 評議員選定委員会・理事会・評議員会の報告…………… 8
- コラム 俳句鑑賞の手引き（7） 俳人（学寮OB） 岸本尚毅…………… 10
- 寮友会より…………… 11
- 寮友会ホームページの今後について
今後の卒寮生の名簿作成について
私たちは同県人です
- 同期生消息…………… 13
- 創立六〇周年記念募金——第三年目の途中状況報告…………… 13
- ご案内…………… 14

られるかも知れませんが、登戸学寮六〇年の歴史は寮事業の存在意義を十二分に再確認した実験であったといふべきでありましょう。世界が激変しグローバル化が進展する今日、日本の、世界の時代の先を永遠の相

から見据え、次世代を担う若者に焦点を当てた本事業の意義は、黒崎幸吉先生の創立精神を起点にますます高まっています。今回、寮事業の運営にフレッシュな若手の人材を得て、この学生寮の

中長期的な存在意義を再認識しつつ、新しい発想で寮事業を世の中に紹介し、次なる発展を目指したく存じます。六〇周年を迎えた今日は、そうした見直

しの良い機会でもあるという認識の下に、役員一同、最大限の努力を致す所存であります。皆様方の引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。

理事長退任のご挨拶

前理事長 福島 穆

ふくしま

あつし

誠に唐突なことでありますが、このたび登戸学寮の理事長を退任させていただきます。理由は本年一月以来、小生が妻の看病に文字通り二十四時間あたることを余儀なくされたことであります。妻は昨年末に階段を踏み外したはずみに腰椎圧迫骨折を患い、余病を併発しました。その結果、自宅療養を余儀なくされ、一刻もそばを離れることが出来ず、加えて家事

の一切を私が担うこととなり、止む無く理事長を退任せざるを得ないとの判断を致しました。多くの関係者の皆様、特に長年にわたり学寮をお支えくださっている多くの方々には誠に申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。とりわけ創立六〇周年記念の大切な事業を理事長として全うできなかったことを申し訳なく思っております。

ます。

しかし、幸いなことに、長らく常務理事として登戸学寮を蔭に日向に支えてこられた小島拓人氏がこの度、新理事長に就任され、創立六〇周年事業はもとより、学寮の運営は滞りなく進んでおります。

このような次第でありますので、皆様には何卒ご理解を賜り、これからも学寮をご支援くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

※ ※ ※

寮の行事紹介

◆防災訓練

五月一九日(日)毎年恒例の防災訓練を行いました。非常持出袋の中身の点検、AEDや消火器の使い方、通報の手順など、非常時に備えてしっかりと確認しました。



訓練中のちよつとした手違いは、いざという時に慌てない、大切な教訓となりました。

◆ブルーベリー

学寮の中庭に植えてあるブルーベリーの木に、今年初めての実が成りました！
実はこの木、去年草刈りの際

にうつかり雑草と一緒に切つてしまい、植え替えたものなので、せつかくだからと植え替えの際に本数を増やして、現在は全部で六本の木が植わっているのですが、今年は復活したこの木に一番立派な実がついています。

喜びもひとしおです。





◆マレーシアより
この四月から寮の仲間に加わった、マレーシア出身のしさん。先日礼拝当番がまわってきた際に、これまでの日本生活の感

想を語ってくれました。
ホームシックになることもあ
るそうで、故郷の味が心の慰め
になるとのこと。豚肉を生薬と
一緒に煮込んだ「肉骨茶(バクテ
ー)」、サテソースと焼き鳥で即
席「サテ」などのマレーシア料理
をふるまってくれたり、語学を
教えてくれたりと、皆の世界を
広げてくれています。



◆黒崎幸吉記念

キリスト教講演会

六月二日(日)一四時より、
今年も今井館記念講堂をお借

りして、黒崎幸吉記念講演会
を開催いたしました。今回の
講演は、次の三つでした。

「アメリカのバリアフリー」

松尾 草太郎(二〇一八
年度卒業生)

「マレーシア・ボルネオ島スタ
ディーツアーに参加して」

山岸 礼奈(在寮生・成城
大学二年)

「藤井武と黒崎幸吉」

佐藤 全弘(愛農学園農業
高等学校理事／キリスト
教愛真高等学校元理事
長・現理事)



最初の二つの寮生による講演
は、「寮生活動支援制度」を利
用した寮生の活動報告を兼ね
ており、経験を通じた豊かな
学びを共有してくれました。



当日は、六月初旬とは思え
ない蒸し暑さの中、約三〇名
の方が会場に足を運んで下さ
いました。改めて御礼申し上
げます。



なお、講演の内容につきましては、「方舟」六〇号に掲載を予定しています。

◆寮生大会

六月一六日(日)、前期の寮生大会が開催されました。

共用部分の片付けや掃除は、おそろくどこの寮やお宅でも頭の痛い問題でしょう。われらが登戸学寮も例外ではありません。

それでもなんとか解決策を探して皆で快適に生活するべく、知恵を絞ります。



◆七夕

七月某日、今年も中庭から笹を切り出して七夕飾りを設置しました。

子ども教育を学んでいるし



さんが、授業で習ったというかわいらしい飾りを沢山作ってくれました。織姫と彦星が嬉しそうに並んで風に揺れています。



◆じゃがいもリベンジ

去年の大掃除の際に「発掘」され、中庭に植えられたじゃがいも。順調に芽が出たものの、モグラにやられたのか、いつのまにか種芋ごと姿を消していました。

今年も大掃除に先立って、どこからともなく「発掘」されたじゃがいも。農学部Mさんが、今年こそはと意気込んでいます。秋の収穫が楽しみです。



◆夏の掃除

七月一四日(日)、空模様は優れない中、前期の大掃除を行いました。

いつものことですが、長期休みに入る前に冷蔵庫の掃除は欠かせません。賞味期限が平成のもの、もう残っていないはず。普段はなかなか手入れが行き届かない窓やホワイトボードなどもピカピカに磨き上げました。あとは夏休みを待つだけです。



◆多摩川いかだレース

七月二二日(日)第二九回多摩川いかだレースに参加しました。今年で八回目の出場となる今回は、昨年出場の経験者一名を含む計三名で出走、いかだも寮生手作りの新作で挑みました。

当日は増水で川の流れが速く、スタート前に流されてしまふフライングがありました。が、千三百メートルの距離を一七分一二秒で無事にゴール。参加した全八九チームの中で四六位(学生の部では三位)で



した。
会場には、寮生や卒業生も応援に駆けつけました。レース

の後は、恒例のバーベキューで健闘を讃えました。
(寮長 山吉裕子)



聖書のことば

『サムエル記上』二八章15節

旧約聖書の『サムエル記上・下』に描かれているのは、イスラエルの民がカナンの地に定住した後の歴史です。イスラエルは、最初から「王国」だったわけではありませんでした。イスラエルの民が周辺民族と戦いを繰り返す中で、自分たちを強力に導いてくれる存在を求めた結果、王を戴くこととなったのです。

『サムエル記上』八章にはまさに、イスラエルが王政へと移行してゆく顛末が書かれています。そこには、王を求めることは神を退けることであること、また、王による支配の本質は搾取であること、といった、王政に対する批判的な態度が見て取れます。
ともあれ、イスラエル最初の

王となったのは、サウルという名の人物でした。彼はイスラエルのベニヤミン族の出身で、「美しい若者で、彼の美しさに及ぶ者はイスラエルにはだれもいなかった。民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった」(サム上九2)とされています。彼はその生涯をアンモン人、ペリシテ人、アマレク人などの戦いに費やしましたが、彼が真に戦わなければならなかった相手は、自分自身に襲い掛かって来る「おそれ」でした。サウルが王となった時、預言者であるサムエルは次のように警告します。

「見よ、あなたたちが求め、選んだ王がここにいる。主はあなたたちに王をお与えに

なる。だから、あなたたちが主をおそれ、主に仕え、御声に聞き従い、主の御命令に背かず、あなたたちもあなたたちの上に君臨する王も、あなたたちの神、主に従うならそれでよい。しかし、もし主の御声に聞き従わず、主の御命令に背くなら、主の御手は、あなたたちの先祖に下ったように、あなたたちにも下る」。

(サム上二二13-15)

王であっても民であっても、真に従うべきは神であり、神をおそれるべきだ、というのです。



さて、こうして王となったサウルですが、ある時ペリシテ人をギルガルの地で迎え撃たねばならなくなりました。出陣

前に神に犠牲を捧げるため、その資格のあるサムエルを待っていたのですが、約束の日になつてもサムエルは現れません。自分の元を集まっていた兵士が去っていくのを見て不安に駆られたサウルは、自ら儀式を執り行つてしまいます。ほどなくやつてきたサムエルに対する言葉は、サウルの追い詰められた心境を物語っています。

「民がわたしから離れて散つていくのが目に見えているのに、あなたは約束の日に来てくださらない。しかも、ペリシテ軍はミクマスに集結しているのです。ペリシテ軍がギルガルのわたしに向かつて攻め下ろうとしている。それなのに、わたしはまだ主に嘆願してはいないと思つたので、わたしはあえて焼き尽くす捧げ物をささげました」。

(サム上二三11-12)

サウルはイスラエルの神をおそれたからではなく、味方が去っていくこと、また敵が強大であることをおそれ、定めを破ってしまったのです。

またある時、アマレク人と戦つたサウルは、彼らに属するものは全て滅ぼし尽くさねばならないと神にあらかじめ命じられていたにもかかわらず、上等なものは惜しんで残して

おきました。それをサムエルに非難されたサウルは、次のように告白します。

「わたしは、主の御命令とあなたの言葉に背いて罪を犯しました。兵士をおそれ、彼らの声に聞き従つてしまいました」。

(サム上二五24)

このように味方の離反や敵をおそれるサウルに対して、神は彼を王としたことを悔い、彼から王権を取り上げることが宣言します。

「今日、主はイスラエルの王国をあなたから取り上げ、あなたよりすぐれた隣人にお与えになる」。

(サム上二五28)。



サウルにとって最後の戦いとなつたのは、宿敵ペリシテ人と



サルヴァートル・ローザ作
『エン・ドルの口寄せの家でサウルに
現われるサムエルの霊』(1668年?)
ルーヴル美術館(パリ)所蔵

のギルボア山での戦いでした。サウルはベリシテの陣営を見ておそれ(サム上二八五)、神に託宣を求めます。しかし何の答えも得られなかったため、最終手段として口寄せに頼ります。口寄せや魔術はイスラエルの神以外に仕える業であるとかつてサウル自身が国内から追放したものでした。エン・ドルという村に住む女性を訪ねたサウルは、既に亡くなっていた預言者サムエルの霊を呼び起こしてもらい、何とか現状を打開しようと訴えます。

「困り果てているのです。ペリシテ人が戦いを仕掛けているのに、神はわたしを離れ去り、もはや預言者によっても、夢によってもお答えになりません。あなたをお呼びしたのは、なすべき事を教えていただくためです」。

(サム上二八15)

やっとの思いで得た託宣は「主があなたを離れ去り、敵となられた」(サム上二八16)という残酷なものでした。サムエルの言葉をおそれたサウルは、地面に倒れ伏してしまいます(サム上二八20)。しかしまだ王位にあつたサウルは、結果を知ついても出陣せざるを得ず、息子たちと共にギルボア山で命を落としました(サム上三一章)。



周辺民族との存亡を賭けた戦いが続いていたイスラエルの王として、民がサウルに望んでいたのは、戦闘に勝利することでした。敵は強大で、味方の兵士に離反されれば致命的、敗戦が続けば民からの信頼を失います。サウルにとってそれはとてもおそろしいことでした。ところが、真におそれるべきは敵でも民でもなく、神であると聖書は告げます。サウル

の王としての地位を支えているのは、敵に対する勝利でもなく、民の期待でもなく、神への信頼だからです。最後の最後に、口寄せという神に逆らう方法で神の託宣を求めたサウル。それが悲劇にしか通じないことを、読者は知っています。預言者によっても夢によつても神が答えてくれない。だからやむをえず神が禁じている方法をとつたのだと訴えるサウルは、ギルガルでおそれに憑りつかれてサムエルの到着を待たず、自ら犠牲を捧げるといふ、かつての過ちを繰り返してしまつたのです。

王というのは孤独なものです。とりわけ危機的状況においては決断すべきことが山ほどあります。最終的な責任を分かち合ってくれる人はいませんか。何を判断基準にするべきか、自分の決断が正しいのかどうか、といったおそれが湧きあがるのは何ら不思議なことでは

はありません。それは民から寄せられる期待を裏切つてしまふのではないかというおそれであると同時に、そうなた際に王としての地位を失うかもしれないというおそれでもあります。

しかし、その時こそ思い起こさなければならぬのは、真

におそれるべきものはいつたい何なのかということです。途方に暮れ、困り果てている時こそ、本当に自分が依つて立つべきところを改めて考える必要があることを、サウルの物語は教えてくれるのではないのでしょうか。

(山吉裕子)



ブリューゲル(父)作
「サウルの自殺」(1562年)
ウィーン美術史美術館(ウィーン)所蔵

評議員選定委員会・理事会・ 評議員会の報告

1. 評議員選定委員会、理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の評議員選定委員会は二〇一九年四月二七日(土)に、定例理事会は五月二五日(土)に、定時評議員会は六月一日(土)に、臨時理事会は六月一日(土)に登戸学寮で開催されました。以下にその議事内容について報告します。

2. 新評議員選任

評議員の全員が六月の定時評議員会の終結と同時に任期満了退任することとなったので、定款に定める手続きに基づいて

評議員選定委員会下記のとおり評議員が選任されました(任期四年)。

安達寿彦(新任)
石川 光(新任)
金井 守(重任)
岸本尚毅(重任)
北村 寛(重任)
香西 信(新任)
白崎良二(新任)
白石光一(重任)
副島 茂(重任)
長谷川真緒香(新任)
早川 嗣(新任)
古角 隆(新任)
安田 裕(新任)

3. 二〇一八年度決算

本年五月の定例理事会及び六月の定例評議員会において、別表の貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書(六〇周年寄付金除き)の通り承認されました。

・基本財産のうち、定期預金を三七〇万円取崩し、その分を、

特定資産のうちの建物再建特定積立資産に積み立てました。これは、当年度の事業収支活動収支から当該積立に充当する財源が手当てできなかったために行ったものです(後述)。

・二〇一八年度における六〇周年寄付額は、一〇八六万円に達しましたが、そのうち、修繕等特定資産積立資金に八八六

万円繰り入れるとともに、残りの二〇〇万円を特定費用準備金に積み立てました。他方、六〇周年記念事業関連経費(一五二万円)を特定費用準備金から取り崩したため、特定費用準備金は、前年度より四八万円増加しました。この結果、資産合計は、建物の減価償却による減額分を差し引いて、前年対比約四三〇万円増の約二億四千

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

公益財団法人登戸学寮

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	7,700,307	6,478,244	1,222,063
未収金	58,133	62,800	-4,667
仮払金	4,249	0	4,249
前払金	1,079,810	767,506	312,304
その他	76,577	2,160	74,417
流動資産合計	8,919,076	7,310,710	1,608,366
固定資産			
基本財産			
土地	592,500	592,500	0
建物	124,516,404	130,463,590	-5,947,186
定期預金	6,300,001	10,000,000	-3,699,999
基本財産合計	131,408,905	141,056,090	-9,647,185
特定資産			
建物再建特定積立資産	73,748,012	70,048,012	3,700,000
修繕等特定資産積立資金	21,267,909	12,411,800	8,856,109
特定費用準備金	2,477,052	2,000,000	477,052
特定資産合計	97,492,973	84,459,812	13,033,161
その他固定資産			
その他固定資産合計	3,291,278	3,990,133	-698,855
固定資産合計	232,193,156	229,506,035	2,687,121
資産合計	241,112,232	236,816,745	4,295,487
II 負債の部			
流動負債			
仮受金	0	0	0
前受金	1,138,048	251,300	886,748
未払金	975,549	864,864	110,685
預り金	110,291	109,739	552
入寮時預り金	420,000	540,000	-120,000
流動負債合計	2,643,888	1,765,903	877,985
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,643,888	1,765,903	877,985
III 正味財産の部			
正味財産			
1.指定正味財産	20,744,961	11,411,800	9,333,161
2.一般正味財産	217,723,383	223,639,042	-5,915,659
正味財産合計	238,468,344	235,050,842	3,417,502
負債及び正味財産合計	241,112,232	236,816,745	4,295,487

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
法人名:公益財団法人 登戸学寮

Table with 4 columns: 科目, 当年度決算, 前年度決算, 増減. Rows include 基本財産運用益等, 受取入寮費, 受取寮費, etc.

百十一万円となりました。

・経常収益は、在寮生数の減少により、収入が対前年度比マイナス約二百五十万円の二千三百六十六万円(六〇周年寄付を除いた収支計算書上の事業活動収入と同額)、経常費用は、収支計算書の事業活動経費に減価償却を加えた二九五八万円(ほぼ前年度並み)で当期経

常増減額はマイナス五九二万円(前年度対比マイナス約二〇六万円)となりました。

・六〇周年寄付を除いた事業活動収支差額は、約七三万円でした。投資活動支出三七〇万円は、上記定期預金の取り崩しから充当(財政活動収支差額として三七〇万円計上)したことにより、当期収支差額も七三万

円となりました。前年度繰越額約五百五十五万円にこれを加えることにより、次期繰越収支差額は、約六二八万円となりました。

・二〇一九年度当初の寮生数は、二十三名(年度途中で数名の退寮生も想定)で、収支均衡を可能とする三十名程度を大幅に下回る状況にあることから、今

60周年寄付を除いた場合の2018年度決算(収支計算書ベース)

単位:千円

Table with 4 columns: 2018年度予算, 2018年度決算, 2019年度予算. Rows include 事業活動収入, 事業活動支出, 事業活動収支差額, etc.

(注1)2018年度再建積立金は、定期預金の取り崩し370万円から支出。(注2)事業活動収入には、特定費用準備金の取崩し分が含まれる。(注3)2018年度財政活動収支差額は、定期預金の取り崩しによる。

後も寮生確保対策に万全を期す必要があります。

4. 定款変更

六月の定時評議員会で、理事会の安定的な運営体制を確保するために、定款二二条を改正し、理事の定員を現行の「七名以上二〇名以内」から「八名以

上二三名以内」に変更する提案があり、承認可決されました。

5. 新理事、新監事、新顧問選任

理事、監事の全員が六月の定時評議員会の終結と同時に任期満了退任することとなったので、定款に定める手続きに基づ

いて定時評議員会で下記のとおり理事、監事、顧問が選任されました(理事は任期二年、監事は四年、顧問は一年)。

理事

- 牛嶋 仁(重任)
- 大竹英雄(重任)
- 大谷 恵(新任)
- 金井 守(新任、但し本年一月一日付け)
- 岸本尚毅(新任、但し本年一月一日付け)
- 櫛田俊明(重任)
- 小島拓人(重任)
- 小西孝蔵(重任)
- 白石光一(新任、但し本年一月一日付け)
- 鷺見八重子(重任)
- 副島正人(重任)
- 野田二三(重任)
- 千葉 恵(新任)

監事

- 黒崎 稔(重任)
- 副島 浩(重任)

顧問

- 福島 穆(新任)
- 織田千尋(新任)
- 三矢 尚(新任)

6. 理事長(代表理事)一名、
常務理事(業務執行理事)二名選任

新理事選任に伴い、定款の定める手続きに基づいて臨時理事会を開催し、下記のとおり選任されました。

- 理事長 小島拓人
- 常務理事 副島正人 鷺見八重子 (小島拓人・小西孝蔵)

コラム 俳句鑑賞の手引き(7)

俳人(学寮OB) 岸本 尚毅

今回は、前回に続き、俳句と季語の関係について触れます。

以下は芭蕉の時代の『猿蓑』という作品集に収録された連句の一部を引用したものです(繰り返し記号などは一部改変)。

市中は物のにほひや夏の月(発句) 凡兆
街の中は食べ物や何やらに匂いが立ち込めているが、空には涼やかに「夏の月」がかかっている。

あつしあつしと門かどの声(脇) 芭蕉
どこの家でも口々に暑い暑いと言っている。

二番草とりも果たさず穂に出でて(第三句) 去来
高温に生まれ稲の生育は順調。二番草の草取りしないうちに稲は穂になって出て来た。

灰うちたぐくうるめ一枚(四句目) 凡兆
そんな農繁期の食事。おかずは干したウルメイワシ。灰に突っ込んで火が通ったところで、灰を叩き落として食するのである。

此筋は銀も身しらず不自由さよ(五句目) 芭蕉
こんな田舎を旅していると、この道筋では通貨に銀を使うことも知らず、旅人には不自由なことである。

句の意味合いは概ね口語訳の通りです。ここに挙げた「連句」という詩形式は、前の句に触発されながら次々に句を詠み、それに伴って場面がどんどん変化してゆくもので、江戸時代に大流行しました。

第一句目の発句の「市中は物のにほひや夏の月」は、今日でいう俳句と同じもので、「夏の月」という季語が詠み込まれています。脇、第三句にもそれぞれ「暑し」「田草取」という季語が含まれています。ところが四句目、五句目には季語が含まれていません。このような句を「雑づウ」の句と呼びます。

連句も含む「俳諧」という文芸は、もちろん季語を重視しますが、四句目と五句目のように季節とは関係のない事象を詠うこともあるのです。少なくとも文学史的には、俳句イコール季語だとは言えないのです。(続く)



寮友会より

登戸学寮卒業生の皆さんにおかれましては、寮友会活動に変わらぬご支援ご協力をいただき、本紙をお借りして厚く感謝を申し上げます。

さて、本年六月十五日に開

催された寮友会役員会において「寮友会ホームページ」及び「卒業生の印刷名簿」の今後に関する審議の結果、以下記載の方針が決まりましたのでお知らせ致します。

◆寮友会ホームページの今後について

蟹江前寮友会会長(現監査役)によつて開設され、学寮のPR活動の一翼を担ってきた寮友会ホームページにつき、このホームページの維持ができる適任者が見当たらないこともあつて、残念なことですが、廃止することとなりました。

今後は学寮が発行している「登戸学寮ニュース」での「寮友会より」欄のスペース活用、及び「登戸学寮ホームページ」での活用を図ることになりました。

◆今後の卒業生の名簿作成について

昨年来寮友会として「名前が登録されている卒業生全員に印刷名簿を配布すること」を目的に、公益財団法人登戸学寮と交渉を重ねてまいりました。

その過程において、二〇一七年五月三十日に全面施行された「改正個人情報保護法」での名簿発行規制に触れる可能性があることが判明しました。

また、この保護法の骨子を取り込んだ「登戸学寮の個人情報保護に関する基本方針」が「公益財団法人登戸学寮・運営規程集」の中にファイルされている事実が判明した結果、名簿登録者の個人情報登録者全員に印刷配布することは現実的に不可能と判断し、今後は印刷名簿は発行しないことになりました。

但し、業務上印刷名簿を必

要とする寮友会及び公益財団法人役員、及び元寮長等の関与者をどの範囲に設定するかは、公益財団法人登戸学寮と協議のうえ決定することになりました。

■ 私たちは

同県人です

今回は滋賀県、長崎県、沖縄県在住の卒業生の方々をお届けします。現住所の上の数字は入寮年次です。

✿長崎県(一名)

◎吉川陽一郎さん

二〇〇六年、西海市

✿沖縄県(二名)

◎石原昌武さん

一九六三年、うるま市

◎石原和義さん

一九八四年、

八重山郡竹富町

■ 同期生消息

(一九七四年入寮)

本号は、登戸学寮の一七期生の方々の消息をお伝えします。

◎山本和宏さん

三重県名張市在住

◎浅尾影人さん

大阪府堺市在住

◎生地 裕さん

横浜市青葉区在住

◎山田尚利さん

長野県諏訪市在住

◎山本純さん

一九九八年、草津市

◎古川登師彦さん

一九七一年、高島市

●酒井英俊さん

静岡市葵区在住

●入寮時寮長 前野 正先生

これらのデータは、全て寮友会名簿に基づいておりますが、必ずしも正確に記されているわけはありませんので、間違いを見つけた方は、寮友会会長にご一報をお願いします。

●一九七四(昭和49)年の主な出来事

一月一五日 長崎県高島町(現長崎市)の端島(通称、軍艦島)が炭鉱閉鎖。四月末までに島民全員が島を離れて無人島となる。



三月七日 日本テレビ、『ユリ・ゲラーの超能力』放映。「スプーン曲げ」やテレビの画面を通じた「念力」などのパフォーマンスで、超能力ブームの火付け役となる。



三月一〇日 フィリピン・ルパン島にて二八年間潜伏していた元陸軍少尉・小野田寛郎が発見される。一二日に日本帰還。



四月一日 WBC世界ライト級タイトルマッチで、挑戦者ガッツ石松が王者ロドルフォ・ゴンザレス(メキシコ)を八回KOで破り、日本人初のライト級王座を奪取。



四月二〇日 東京国立博物館で「モナ・リザ展」開幕(六月一〇日まで)。



五月一五日 東京都江東区豊洲にセブンイレブン一号店が開店。



七月七日 台風八号と梅雨前線により日本各地で集中豪雨(七夕豪雨)。

八月八日 ニクソン米大統領、ウオーターゲート事件で辞任。

八月一五日 ソウルで朴大統領が狙撃される(文世光事件)。

九月一三日 日本赤軍がオランダ・ハーグにあるフランス大使

館を占拠。

一〇月九日 立花隆、田中角栄研究―その人脈と金脈―掲載の『文芸春秋』発売。



一〇月一四日 巨人の長嶋茂雄選手が引退表明。引退セレモニーの際に長嶋が発した「我が巨人軍は永久に不滅です」は流行語に。



一二月二六日 田中角栄、閣議で辞意を表明。

(寮友会会長 櫛田俊明)

創立六〇周年記念募金——第三年目の途中状況報告

二〇一七年四月にスタートしました、創立六〇周年記念事業の募金につきましては、最後の第三年目に入りました。これまでの途中状況をご報告させていただきます。

第三年目の二〇一九年六月末現在で、延べ八八五名(うち集会二二)の方々から三〇二八万円の寄附を頂きました。第三年目の第一四半期末で、目標額三〇〇〇万円を超えましたことは真にありがたく厚く感謝申し上げます。

この間、頂いたご寄附の中には、毎年、毎月の定期的なご寄附、老人ホーム在住の方からのご寄附、遺言に基づく大口のご寄附、一般寄附と併せたご寄附等々、数々のご寄附の積み重ねがあり、皆様のご厚意と登戸学寮へのこ

期待が込められた結果として、改めて深く感謝申し上げます。

登戸学寮では、二〇一九年六月の役員改選に当たり、福島穆氏が一身上の都合で理事長を退任致すこととなりましたが、殆どの理事が再任し皆様からの浄財を活用すべく六〇周年事業の推進に当たっておりますので、引き続き記念事業のご支援方宜しくお願い申し上げます。

周年募金に伴う「十年毎の建物の定期補修工事」につきましては、一部先行工事を開始致しましたが、耐震工事を含む本格的な補修工事につきましては、来年に着手すべく検討を進めており、別途ご報告申し上げます。

また、今回の六〇周年寄附では「寮生の寮外活動支援」をも

う一つの記念事業の柱としておりますが、このプログラムは寮生にも好評で、今年も既に「中国・延辺での日中大学生による国際交流ワークショップへの参加」、「和歌山県での農村ワーキングホリデー参加」、「ベトナムの孤児院、障害児病院訪問」等の意欲的な寮外活動三件の申し込みが届いています。

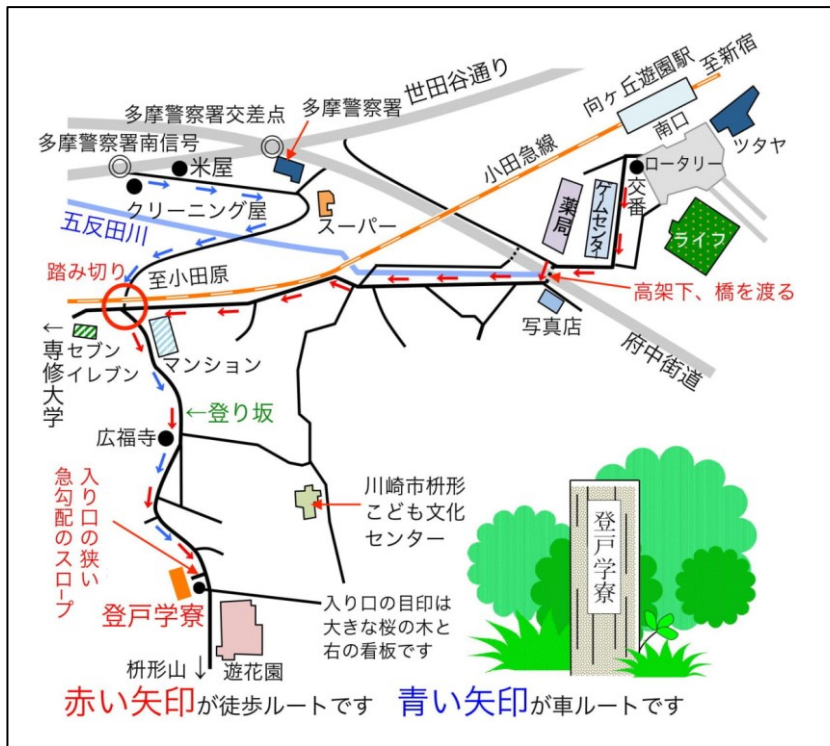
学生寮のアパート化の商用事業が進んでいる中で、本プログラムの公益財団法人として利益を目的としない登戸学寮にしか出来ないものであり、今後とも皆様のご支援の下に推進致したく存じます。

今回も、本誌に通常寄附と六〇周年寄附の二枚の「振込取扱票」を同封させて頂きますので、ご無理のない範囲でのご支援を

賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

- 公益財団法人登戸学寮
- 創立六〇周年記念事業委員会
- 委員長 大島 智夫
- 理事 小島 拓人

- 常務理事(委員長代行) 副島 正人
- 常務理事(女子寮担当) 鷺見八重子
- 役員一同
- 顧問 福島 穆
- 寮長 山吉 裕子



登戸学寮周辺地図

ご案内

ホームカミングデーの開催

十一月二三日(土)、一五―
一七時、登戸学寮にてホームカ
ミングデーを開催いたします。
今年も、若手の卒業生が中心と
なり準備を進めています。

先輩、後輩、同期の皆さまを
お誘いの上、ぜひご参加くださ
い。

(HCD実行委員会)



入寮のご案内

登戸学寮では入寮をご希望される方を随時受け付けています。

入寮をご希望される方、検討されている方は、お気軽に以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお定員を満した場合には、受付を締め切らせていただきますのでご了承願います。

電話でのご相談

044-933-0819 11:00~17:00 月・水・金曜日(2月・3月は月~土曜日)

メールでのご相談

noborito@gakuryo.or.jp

学寮ホームページ(アドレス、<http://gakuryo.or.jp/>)もご参考ください。

初期費用

内 訳	金 額(備 考)
入寮費	15万円 (入寮時のみ。契約更新手数料はありません)
預り金	3万円 (退寮時の清掃費・補修代。精算し余剰金がある場合は返金)

寮費

	男子寮 A タイプ	男子寮 B タイプ	女子寮
1ヶ月の費用	広さ 約7.8畳 部屋数 6室	広さ 5.4畳 部屋数 18室	広さ 6.2畳 部屋数 15室
住居費	42,500円	39,500円	44,500円
食費(朝・夕)	20,000円(日曜は夕食なし、祝日・閉寮期間(注1)の食事はありません)		
共益費	13,000円(水道・ガス、および共用施設の費用)		
合 計	75,500円	72,500円	77,500円
その他実費	個室の電気代実費 乾燥機の使用料=1回につき100円		

(注1) 閉寮期間中の食費はかかりません
閉寮期間は年度によって異なります
閉寮期間中も居室や施設の利用は可能です